

ミネベアグループは、「5つの心得」に掲げている「地域社会に歓迎されなければならない」「国際社会の発展に貢献しなければならない」という考えに基づき、地域の教育活動への支援、財団への基金寄贈、政府活動への協力、アマチュアスポーツ振興への支援などを行っています。

2007年の主な社会貢献活動

タイ「高橋財団」への基金寄贈

「高橋財団」は、1992年にタイミネベアグループ設立10周年を記念した寄付によって設立されたもので、科学技術を学ぶ経済的に恵まれていない学生に奨学金を授与しています。奨学生数は、設立以来500名を超えています。タイミネベアグループは、その後も15周年、20周年に寄付金の寄贈を続け、25周年を迎えた2007年の記念寄贈により、基金の総額は8,000万バーツとなりました。また、貧困家庭の子供たちのために、小学校への昼食支援プロジェクトも開始しています。

「カーリングホールみよた」への活動支援

長野県御代田町の総合地域スポーツクラブ「カーリングホールみよた」に、ホール運営支援金として300万円の寄付と、カーリング選手たちが着用するベンチコート70着（約150万円相当）を寄贈しました。ベンチコートの背中には、ヤマユリと浅間山をデザインした御代田町のシンボルマークがプリントされており、男子のSC軽井沢や女子のチーム長野など、長野県内で活動するカーリングチームが着用しています。



2007年12月3日 「カーリングホールみよた」への支援金贈呈式

タイ僻地の子供たちへの教育支援プログラム

ミネベアグループは、タイ僻地の子供たちに就学の機会と援助を提供することを目的とした教育支援プログラムを推進しています。2007年は、前年12月に校舎を寄贈したターク県メーファールアン校を再訪問し、環境やエネルギーに関する図書、学習教材、スポーツ用品、毛布、食べ物などを寄贈しました。



「ミネベア・タイの社員とメーファールアン校の子供たち」



寄贈したベンチコート